



文化財を火災から守る

(1月21日)

文化財防火デーにちなみ、中央公園にある国指定重要文化財の旧植松家住宅で火災予防訓練が行われました。訓練には西中学校の2年生が参加し、消防署員の指導を受けながら、消火栓や放水銃を使った放水訓練を体験しました。

市内小・中学生の書き初め 138点を展示

(1月30日)

鈴木図書館で書き初め展が開催されました。市内小・中学校から選ばれた児童・生徒の力作138点が一堂に展示されました。会場では家族とともに来場した児童が、自分や友人の作品を見つけて楽しそうに話している姿が見られました。

特派員：小林 建次



ウォーキングで心も体も健康に

(1月30日)

すそのウォーキング大会が第一生命保険株式会社と共催で開催され、子どもからお年寄りまで約110人が参加しました。福祉保健会館をスタート・ゴールにした約5キロ、1時間程のコースを歩きながら、健康づくりに励んでいました。ストレスチェックや血管年齢測定等の健康機器コーナーも好評でした。

地域活動に活躍 区長に感謝状を贈呈

(2月1日)

区長感謝状贈呈式が市役所で行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年は代表して5人の地区会長が出席しました。市長は、地域コミュニティの中心的役割を担った区長の皆さんに感謝の言葉を述べ、1年間の労をねぎらいました。





1年の無病息災を祈る

(2月3日)

佐野原神社（平松）で恒例の節分祭が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年よりも規模を縮小し、豆まきも中止となりました。それでも集まった人たちは、式典を見守りながら、コロナの収束や1年の無病息災を願っていました。

特派員：小林 建次

3回目のワクチン接種が始まる

(2月10日)

市内でも、主に65歳以上の人を対象に3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種が始まりました。この日はあらかじめ日時を指定された約340人の高齢者が接種を受けていました。3回目のワクチン接種は、2回目のワクチン接種を早く受けた人から順番に実施します。接種券が届いたら、接種可能時期や予約方法をご確認ください。



姉妹都市提携 40周年を オンラインで祝う

(2月12日)

市とフランクストン市（オーストラリア）が姉妹都市提携を結んで今年で40年を迎えたことから、生涯学習センターで記念式典が開催されました。新型コロナウイルスの影響で両市をオンラインで結んでの開催となりましたが、節目の年をともに祝福し、両市の深い絆を確かめました。会場では交流の歴史を振り返るパネル展示も行われました。

流ちょうな英語でスピーチ

(2月12日)

英語スピーチコンテスト・日本語スピーチが生涯学習センターで開催されました。英語スピーチコンテストには、市内の中学校から選ばれた生徒18人が自分の体験や考えを英語でスピーチしました。最優秀賞には勝又礼妃さん（深良中2年）が選ばれました。

